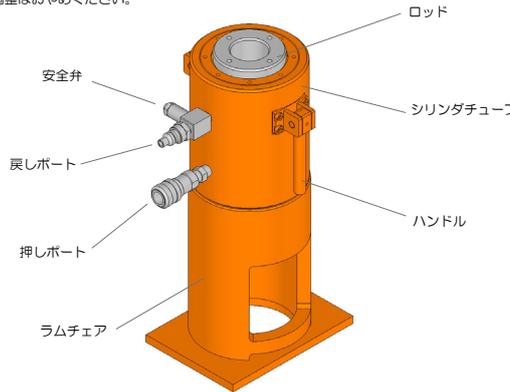


CH型油圧ジャッキ



4. 各部名称

△注意
安全弁は出荷時に適切に調整されています。
お客様による調整はおやめください。



5. 使用前点検

点検箇所	点検内容
油圧ジャッキ	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無 <input type="checkbox"/> 設置状態の確認
ラムチェア	<input type="checkbox"/> 破損・変形の有無 <input type="checkbox"/> 設置状態の確認
カップラー	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無 <input type="checkbox"/> 接続状態の確認
油圧ホース	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無 <input type="checkbox"/> 接続状態の確認*1 <input type="checkbox"/> 配管状態の確認 *1 接続手順は別紙参照

6. 作動確認

△警告 ご使用前に必ず無負荷での作動確認を行ってください。
△警告 油圧ジャッキを作動する際は、載荷物との間に手指・身体を挟まれない様に注意してください。

伸長動作の確認

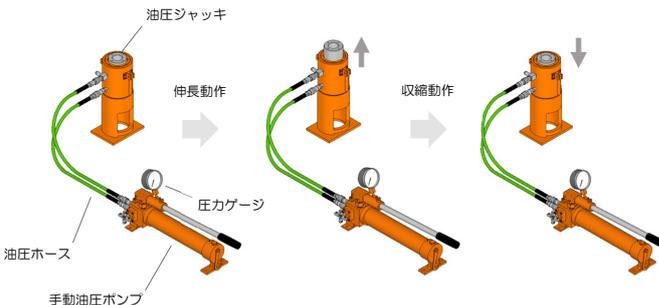
- 油圧ジャッキと油圧ポンプを油圧ホースにて接続する。
- 油圧ポンプを伸長動作に切換え*1、油圧ジャッキの押し側に作動油を少しずつ送り込む。
- 油圧ジャッキのロッドが少しずつ伸長することを確認する。
- ロッドが完全に伸長したら伸長量が仕様通りの数値が確認する。*2

*1 使用する油圧ポンプによって操作方法が異なります。詳細は各油圧ポンプの取扱説明書をご確認ください。
*2 ロッドが完全に伸長すると圧力が上昇します。油圧ポンプの圧抜き操作*1にて圧力を下げてください。

収縮動作の確認

- 油圧ポンプを収縮動作に切換え*1、油圧ジャッキの戻し側に作動油を少しずつ送り込む。
- 油圧ジャッキのロッドが少しずつ収縮することを確認する。*2

*1 使用する油圧ポンプによって操作方法が異なります。詳細は各油圧ポンプの取扱説明書をご確認ください。
*2 ロッドが完全に収縮すると圧力が上昇します。油圧ポンプの圧抜き操作*1にて圧力を下げてください。



油圧ジャッキと油圧ポンプの組み合わせ例

1. 使用上の注意

油圧ジャッキをご使用の際は必ず本書をお読みになり、内容を十分に理解してから取り扱ってください。

2. 仕様

- ・周囲使用温度 -5℃ ~ 40℃
- ・作動油 ISO-L-HM VG-32 相当品
- ・ジャッキ仕様 各ジャッキの銘版をご確認ください

3. 安全上の注意

注意事項は下記3種類に分類しております。

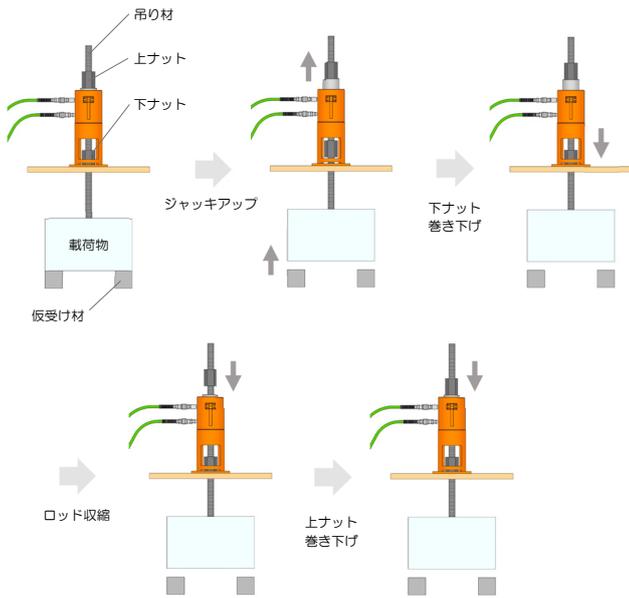
- △危険 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う事柄。
- △警告 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う可能性がある事柄。
- △注意 取扱いを誤った場合、身体に損傷を負う可能性又は物的損害が発生する可能性がある事柄。
- △危険 油圧ジャッキの改造はおやめください。動作不良につながる可能性があります。
- △警告 油圧ジャッキは単一で使用する場合は想定される鉛直荷重の「1.5~2倍」の能力、複数の油圧ジャッキを同一油圧で動作させる場合は「1.2~1.5倍」の能力を有するジャッキを使用してください。(鋼構造架設設計施工指針参照) また、「ジャッキ式つり上げ機械」として使用の場合は特別教育が必要となります。
- △警告 油圧ジャッキ・ラムチェアは荷重方向に対し垂直に設置してください。
- △警告 油圧ジャッキ・ラムチェアは荷重受け部の中心で、垂直かつ全面で荷重を受けてください。載荷物のジャッキ接触面に勾配がある場合はテーパプレートを使用し全面接触としてください。勾配部を直接受けた場合、ジャッキや挿入した緊張材・吊り材の損傷やジャッキが転倒する可能性があります。また、偏心荷重は載荷物の損傷やジャッキが転倒する可能性があります。
- △警告 油圧ジャッキに衝撃荷重を負荷させないでください。またジャッキ本体に打撃を与える、落下させるといった強い衝撃を与えることはおやめください。作動不良や油漏れを起こす可能性があります。
- △警告 油圧ホースは別紙記載のカップラー脱着手順通りに確実に接続してください。接続不良の場合、油圧ジャッキが破損する可能性があります。
- △警告 長時間油圧ジャッキにて荷重を保持する場合は、仮受け材等で載荷物の落下防止措置を講じてください。またはラムチェアを使用し、緊張材・吊り材を盛替え用ナットにてロックしてください。
- △警告 各油圧ジャッキの銘板に記載されている最高使用圧力以上でのご使用はおやめください。油圧ジャッキが破損する可能性があります。
- △注意 油圧ホースに重量物を載せないでください。また、ねじれが発生するような使用方法もおやめください。潰れやキック等の変形により強度が著しく低下し、油漏れの原因となります。
- △注意 油圧ジャッキ近傍で溶接作業等を行う場合は必ず油圧ジャッキと油圧ホースを火花養生してください。高温により損傷し油漏れの原因となります。
- △注意 油圧ジャッキ・油圧ホースに通電させないでください。通電した場合、破損や感電の原因となります。

7. ジャッキアップ・ジャッキダウンの操作手順

△危険 油圧ジャッキが加圧されている場合、急激な圧抜き操作はおやめください。載荷物のバランスが崩れ、荷が落下する可能性があります。

ジャッキアップ

1. 所定位置に油圧ジャッキ・ラムチェアを設置する。状況に応じて油圧ジャッキの転倒防止措置をとること。
2. 油圧ジャッキと油圧ポンプを油圧ホースにて接続する。
3. 載荷物と吊り材を接続する。
4. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら油圧ジャッキに圧力をかけ、載荷物をジャッキアップする。
5. 下ナットを巻き下げ吊り材をロックする。
6. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら圧抜き操作を慎重に行い、下ナットに荷重を移行する。
7. 油圧ポンプを収縮動作に切換えロッドを収縮させる。
8. 上ナットを巻き下げる。
9. 以下4～8を繰り返す。



ジャッキダウン

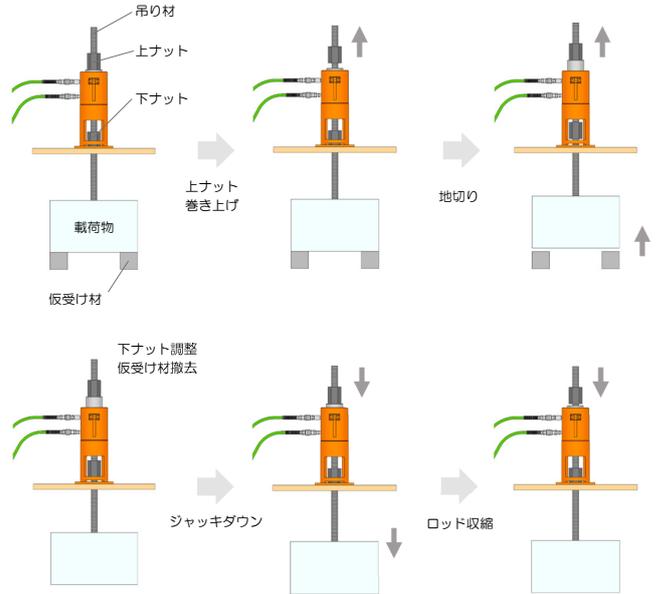
1. 上ナットを巻き上げる。*1
2. 油圧ポンプを操作し、上ナットに触れるまでロッドを伸長させる。
3. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら油圧ジャッキに圧力をかけ、載荷物をジャッキアップする。(地切り)
4. 下ナット下面と定着面の距離を降下量に合わせて調整する。*2
5. 載荷物を支えていた仮受け材等を撤去する。
6. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら圧抜き操作を慎重に行い、圧力をゆっくり下げていく。(ジャッキダウン)
7. 下ナットの定着と圧力ゲージがゼロになったことを確認後、油圧ポンプを収縮動作に切換えロッドを収縮させる。
8. 上ナットを巻き上げる。*1
9. 油圧ポンプを操作し、上ナットに触れるまでロッドを伸長させる。
10. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら油圧ジャッキに圧力をかけ、下ナットの地切りを行う。
11. 下ナット下面と定着面の距離を降下量に合わせて調整する。*2
12. 以下6～11を繰り返す。

*1 下ナットの地切り代を確保するための作業。

(例：200mm ストロークのジャッキの場合は 180mm を上限に巻き上げる)

*2 降下量の設定と上ナットの解放代を確保するための作業。降下量設定（下ナット下面と定着面の距離）は地切り完了時の伸長ストローク量よりも小さい値に設定すること。

(例：地切り時の伸長ストロークが200mmの場合、降下量は 180mm を上限に設定する)



8. 不具合の内容及びその原因と対策

症状	考えられる原因	対策
油が漏れている	<input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> カップラー・継手類の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ホースの破損 <input type="checkbox"/> 油圧ホース接続時の少量の漏れ	<input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材・部品を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> ふき取り、再度漏れる場合は機材を交換する
ロッドが伸長（収縮）しない	<input type="checkbox"/> 油圧ホースの接続不良 <input type="checkbox"/> ロッドが完全に伸長・収縮している <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの操作ミス <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの油量不足 <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの破損 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキの能力不足	<input type="checkbox"/> 接続状態を確認する <input type="checkbox"/> 伸長量を確認する <input type="checkbox"/> ハルブを確認する <input type="checkbox"/> タンク内を確認する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 適切な機材を選定する
圧力が保持されない	<input type="checkbox"/> カップラー・継手類の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの操作ミス <input type="checkbox"/> 油圧ホースの接続不良 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの破損	<input type="checkbox"/> 機材・部品を交換する <input type="checkbox"/> ハルブ類を確認する <input type="checkbox"/> 接続状態を確認する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する

9. お問い合わせ先・改訂履歴

ご不明な点は下記までお問い合わせ願います。

大瀧ジャッキ株式会社

本社

住所：東京都足立区北加平町 4-16

電話：03-3620-0171

大阪支店

住所：兵庫県伊丹市野間北 3-4-17

電話：072-783-1360

三郷機材センター

住所：埼玉県三郷市早稲田 8-13-9

電話：048-958-7272

改訂履歴

印刷年月日	版数	改訂内容
2024年4月1日	初版	